

令和 2 年度
第 1 回区民アンケート報告書

大阪市鶴見区役所

目次

■ アンケート概要	1
ご回答いただいた方の基本事項について	2
1. 鶴見区の魅力について	
問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。 あなたは次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。	4
2. 安全で住みやすいまちづくりについて	
問2 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。 知っている防犯事業を選んでください。	5
問3 (問2で1～5を選択された方へ) 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。	6
問4 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業(子育て層、高齢者、幼児、児童、中・高校生など各対象別の交通安全教室などの交通マナーを高める取組み)を行っています。 知っている交通安全対策事業を選んでください。	7
問5 (問4で1～3を選択された方へ) あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。	8
問6 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。	9
3. 子育てについて	
問7 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。	10
問8 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。	11
問9 (問8で「1 いる」と回答された方へ) 区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。	12
問10 (問8で「1 いる」と回答された方へ) あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。	13
問11 (問8で「1 いる」と回答された方へ) 鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS(フェイスブック、ツイッター)を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。	14

4. まなびを通じたつながりづくりについて

- 問 12 鶴見区では、「人権啓発推進セミナー」「ヒューマンシアター」「校下別人権学習会」「人権啓発イベント」「人材育成講座」「街頭啓発」などの人権教育・啓発の取組みを行っています。
あなたはこれらの取組みに参加したり、地域で人権学習の開催や啓発活動に関わったことがありますか。_____ 15
- 問 13 あなたは鶴見区で実施している取組みを通して、「一人ひとりが互いに認め合い、受け容れ、ともに生きる」人権尊重のまちづくりが進んでいると感じますか。_____ 16
- 問 14 (問 13 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
人権尊重のまちづくりが進んでいると感じない理由は何ですか。_____ 17
- 問 15 鶴見区では「生涯学習ルーム」「生涯学習ルームフェスティバル」「生涯学習セミナー」「おもてなし茶会」「生涯学習一日体験 学び舎つるみ」「家庭教育支援講座」「はぐくみネット」などの生涯学習の取組みを行っています。
あなたはこれらの取組みや、地域における子どもの健全育成のボランティアなどに参加したことがありますか。_____ 18
- 問 16 あなたは、生涯学習の取組みや地域ボランティア活動などによるまなびを通して、人との関わりやつながりができると感じますか。_____ 19
- 問 17 (問 16 で「3 どちらかといえば感じない」「4 感じない」と回答された方へ)
まなびを通して人との関わりやつながりができると感じない理由は何ですか。_____ 20
- 問 18 あなたは、鶴見区が花や緑あふれるまちと感じますか。_____ 21

5. 鶴見区全般について

- 問 19 今後、だれもが安心して暮らせるまちづくりを進めるにあたり、取り組んだらよいと思うアイデア等がありましたら、ご記入ください。— 22

アンケート調査票_____ 24

■アンケート概要

(1) 第1回区民アンケートの目的

区民の皆さんがお互いに支えあい、だれもが安心して暮らせるまちの実現に向け、鶴見区の魅力について、安全で住みやすいまちづくりについて、子育てについて、まなびを通じたつながりづくりについてなど、広く区民の皆さんにお伺いし、今後の施策の進め方の参考にさせていただきます。

(2) 区民アンケートの実施状況

実施期間	: 令和2年11月26日(木)～12月10日(木)
実施方法	: 郵送によるアンケート
対象者	: 無作為抽出1,000名
回答者数	: 514名
宛先不明返戻分	: 14名
回答率	: 52.1%

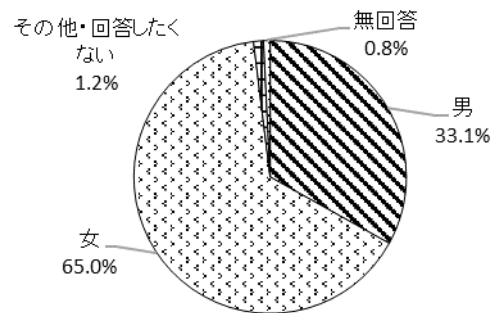
(3) 報告書に関する留意点について

回答構成比(%)は、設問ごとの回答者数を100%として、各実数をもとに算出した数値の少数第2位を四捨五入しています。そのため、構成比の合計が100%と一致しない場合があります。

ご回答いただいた方の基本事項について

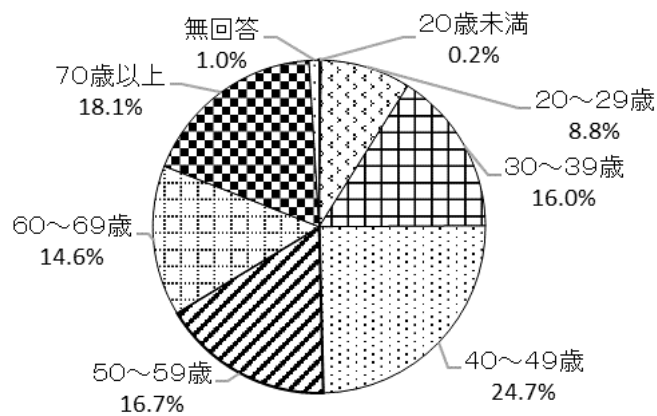
性別

	n数	男	女	その他・回答したくない	無回答
回答者数(名)	514	170	334	6	4
回答者数(%)	100.0	33.1	65.0	1.2	0.8



年齢

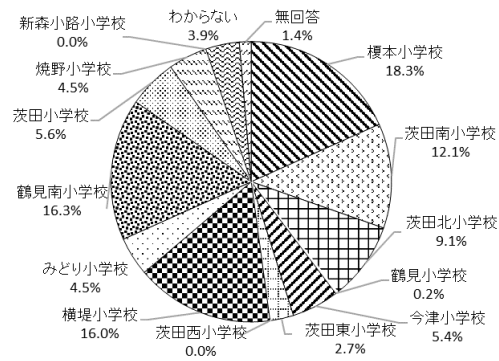
	n数	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	無回答
回答者計(名)	514	1	45	82	127	86	75	93	5
回答者計(%)	100.0	0.2	8.8	16.0	24.7	16.7	14.6	18.1	1.0



小学校区

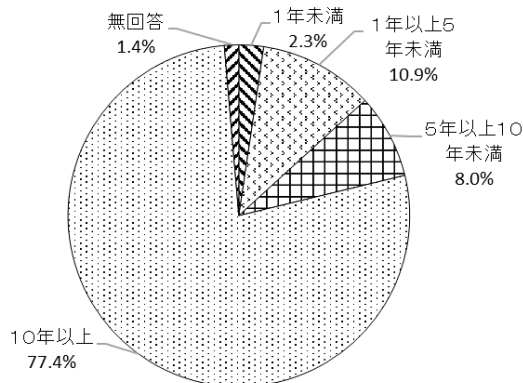
	n数	榎本小学校	茨田南小学校	茨田北小学校	鶴見小学校	今津小学校	茨田東小学校	茨田西小学校	横堤小学校	みどり小学校	鶴見南小学校	茨田小学校
回答者計(名)	514	94	62	47	1	28	14	0	82	23	84	29
回答者計(%)	100.0	18.3	12.1	9.1	0.2	5.4	2.7	0.0	16.0	4.5	16.3	5.6

	焼野小学校	新森小路小学校	わからない	無回答
回答者数(名)	23	0	20	7
回答者数(%)	4.5	0.0	3.9	1.4



居住年数

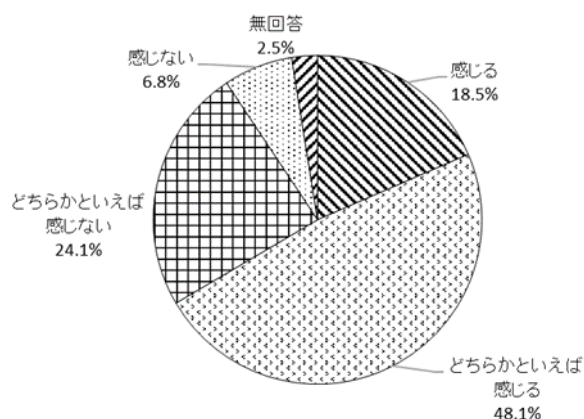
	n数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上	無回答
回答者計(名)	514	12	56	41	398	7
回答者計(%)	100.0	2.3	10.9	8.0	77.4	1.4



1. 鶴見区の魅力について

問1 鶴見区では、区の歴史や魅力の発見・発信や賑わいの創出を図るため、幅広い世代のみなさまに区への愛着を深めていただく事業に取り組んでいます。
あなたは、次の「イベント・事業の例」に掲げる取組み全般について、魅力ある取組みだと感じますか。（1つ選んでください）

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計（名）	514	95	247	124	35	13
回答者計（%）	100.0	18.5	48.1	24.1	6.8	2.5

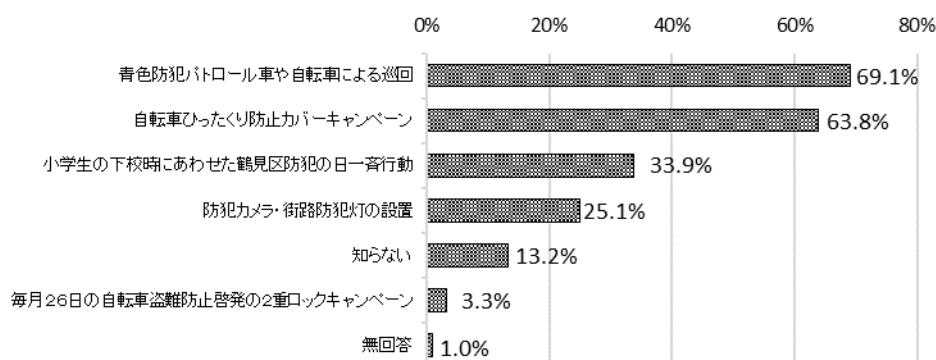


- 【全体的傾向】 「感じる」（18.5%）、「どちらかといえば感じる」（48.1%）と66.6%の方が鶴見区は魅力あるまちだと感じている。
- 【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は40代（53.5%）。次いで、20歳代から30歳代が多い。
- 【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は5年以上10年未満（70.7%）。
- 【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は今津小学校（57.1%、標本数1で100%の鶴見小学校は除く）。次いで、焼野小学校、茨田北小学校、榎本小学校は「感じる」が「どちらかといえば感じない」を上回っている。

2. 安全で住みやすいまちづくりについて

問2 鶴見区では、地域と連携し、さまざまな防犯事業に取り組んでいます。
知っている防犯事業を選んでください。(いくつでも選んでください)

	n 数	青色防犯パトロール車や 自転車による巡回	小学生の下校時にあわせて 鶴見区防犯の日一斉行動	自転車ひったくり防止 カバーキャンペーン	街路防犯カメラ・ 防犯灯の設置	毎月26日の自転車 盗難防止啓発の 2重ロックキャンペーン	知らない	無回答
回答者計(名)	514	355	174	328	129	17	68	5
回答者計(%)	100.0	69.1	33.9	63.8	25.1	3.3	13.2	1.0



【全体的傾向】 「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」(69.1%)が最も多く、次いで「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」(63.8%)が多い。

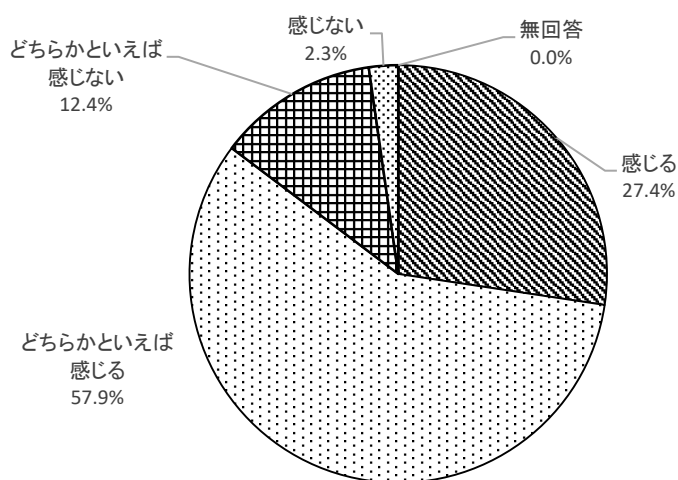
【年齢別傾向】 全ての年代で「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多く、最多は50歳代(75.6%)。次いで「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」が多く、最多は50歳代(72.1%)。

【居住年数別傾向】 1年未満は「知らない」(75.0%)が最も多い。5年以上10年未満では「自転車ひったくり防止カバーキャンペーン」(68.3%)が最も多く、その他の居住年数では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多い〔10年以上(74.6%)、1年以上5年未満(48.2%)〕。

【小学校区別傾向】 榎本小学校、茨田北小学校、みどり小学校、焼野小学校では「自転車ひったくり防止キャンペーン」が最も多く、最多は榎本小学校(77.7%)。その他の小学校区では「青色防犯パトロール車や自転車による巡回」が最も多く、最多は茨田小学校(80.6%)。

(問2で1～5を選択された方へ)
 問3 鶴見区で実施している防犯事業が、区の犯罪抑止につながっていると感じますか。
 (1つ選んでください)

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	442	121	256	55	10	0
回答者計(%)	100.0	27.4	57.9	12.4	2.3	0.0



【全体的傾向】 「感じる」(27.4%)、「どちらかといえば感じる」(57.9%)と85.3%の方が鶴見区で実施している防犯事業が犯罪抑止につながっていると感じている。

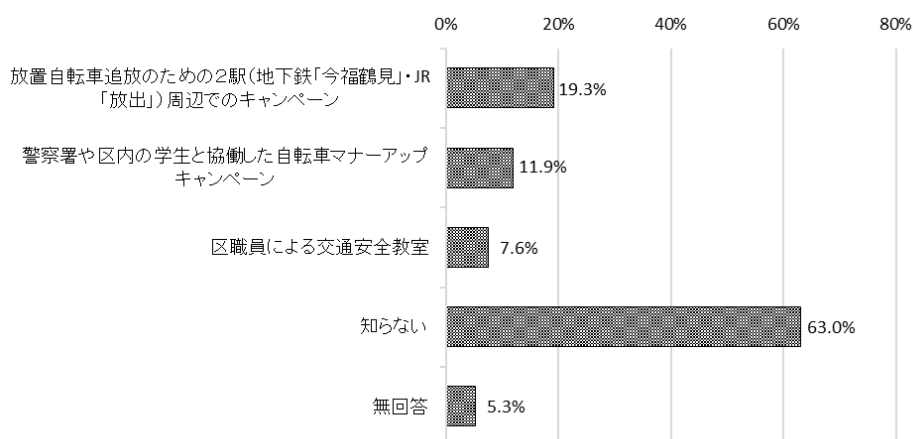
【年齢別傾向】 各年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、標本数1で100%の20歳未満を除き、最多は30歳代の66.1%。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は1年以上5年未満(62.2%)。次いで「感じる」が多く、こちらも最多は1年以上5年未満(35.1%)。

【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は茨田北小学校(67.5%)。

問4 鶴見区では、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業（子育て層、高齢者、幼児、児童、中・高校生など各対象別の交通安全教室などの交通マナーを高める取り組み）を行っています。
知っている交通安全対策事業を選んでください。（いくつでも選んでください）

	n 数	区 職 員 に よ る 交 通 安 全 教 室	警 察 署 や 区 内 の 学 生 と 協 働 し た 自 転 車 マ ナ ー ア ッ プ キ ャ ン ペ ー ン	放 置 自 転 車 追 放 の た め の 2 駅 （ 地 下 鉄 「 今 福 鶴 見 」 ・ J R 「 放 出 」 ） 周 辺 で の キ ャ ン ペ ー ン	知 ら な い	無 回 答
回答者計（名）	514	39	61	99	324	27
回答者計（%）	100.0	7.6	11.9	19.3	63.0	5.3



【全体的傾向】 「知らない」(63.0%)が最も多い。事業を知っている中では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」(19.3%)が最も多い。

【年齢別傾向】 全ての年代で「知らない」が最も多く、最多は30歳代(73.2%)。事業を知っている中では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」が最も多く、最多は70歳以上(33.3%)。

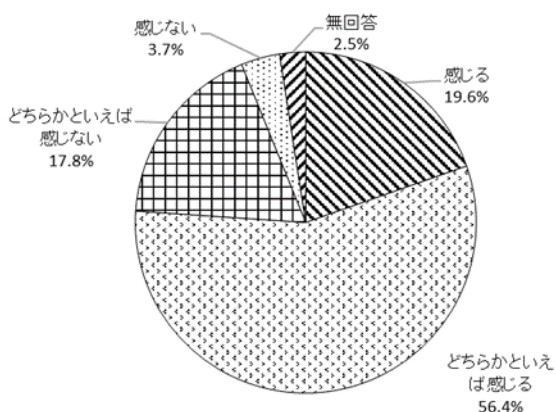
【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「知らない」が最も多く、最多は1年未満(91.7%)。事業を知っている中では「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」が最も多く、最多は10年以上(21.4%)。

【小学校区別傾向】 榎本小学校は「放置自転車追放のための2駅周辺でのキャンペーン」(42.6%)が最も多い。その他の小学校区は「知らない」が最も多く、最多は横堤小学校(74.4%)。

問5 (問4で1~3を選択された方へ)

あなたは、鶴見区が実施している交通安全対策事業が区の交通マナー向上につながっていると感じますか。(1つ選んでください)

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	163	32	92	29	6	4
回答者計(%)	100.0	19.6	56.4	17.8	3.7	2.5



【全体的傾向】 「感じる」(19.6%)、「どちらかといえば感じる」(56.4%)と76.0%の方が鶴見区で実施している交通安全対策事業が交通マナーの向上につながっていると感じている。

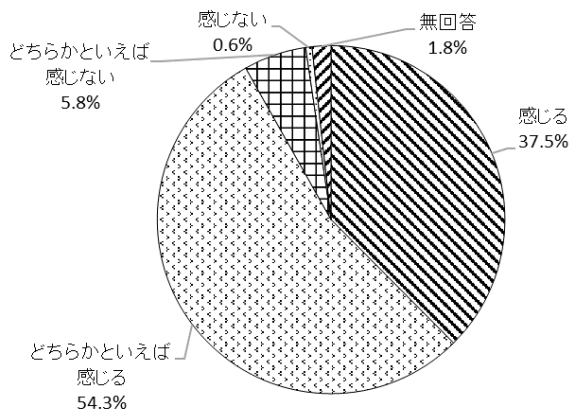
【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は20代(80.0%)。次いで、60歳代では「どちらかといえば感じない」が「感じる」を上回っているが(それぞれ25.8%、12.9%)、その他の年代では「感じる」が「どちらかといえば感じない」を上回っている。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は1年以上5年未満(77.8%)。その他の項目は居住年数で大きな違いは見られない。

【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「どちらかといえば感じる」が多く、最多はみどり小学校(81.8%)。

問6 あなたは、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

	n数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	514	193	279	30	3	9
回答者計(%)	100.0	37.5	54.3	5.8	0.6	1.8



【全体的傾向】 「感じる」(37.5%)、「どちらかといえば感じる」(54.3%)と91.8%の方が、鶴見区は安全で住みやすいまちと感じている。

【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は70歳以上(58.1%)。次いで、「感じる」が多く、最多は20歳代(44.4%)。

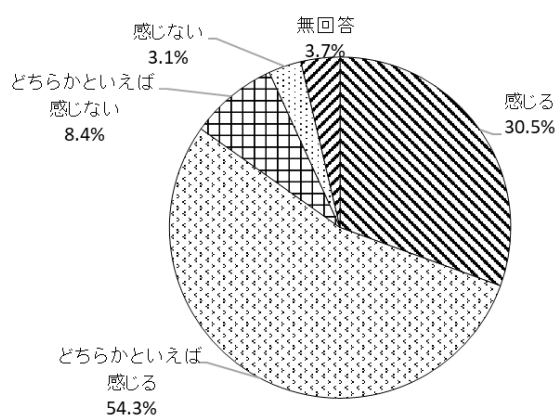
【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は1年以上5年未満(58.9%)。次いで、1年未満では「どちらかといえば感じない」(25.0%)が多いが、その他の居住年数では「感じる」が多く、最多は5年以上10年未満(46.3%)。

【小学校区別傾向】 みどり小学校と焼野小学校では「感じる」(それぞれ60.9%、52.2%)が最も多い。その他の小学校区は「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は今津小学校(64.3%)。

3. 子育てについて

問7 鶴見区は、子育てしやすいまちと感じますか。(1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	無回答
回答者計(名)	514	157	279	43	16	19
回答者計(%)	100.0	30.5	54.3	8.4	3.1	3.7



【全体的傾向】 「感じる」(30.5%)、「どちらかといえば感じる」(54.3%)と84.8%が鶴見区は子育てがしやすいまちと感じている。

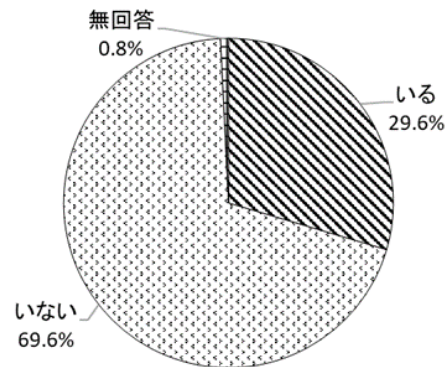
【年齢別傾向】 全ての年代で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は60歳代(68.0%)。次いで「感じる」と答えた方が全ての年代で多く、最多は40歳代(41.7%)。

【居住年数別傾向】 全ての居住年数で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は5年以上10年未満(56.1%)。1年未満は「どちらかといえば感じない」との回答が、他の居住年数よりも多い(33.3%、他は10%未満)。

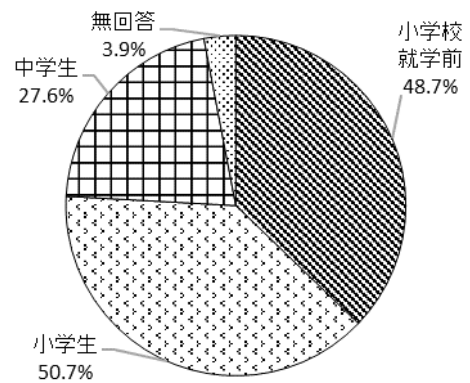
【小学校区別傾向】 多くの小学校区で「どちらかといえば感じる」が最も多く、最多は横堤小学校(61.0%)。焼野小学校では「感じる」が最も多い(52.2%)。

問8 あなたの世帯に現在、中学生以下のお子さまはいらっしゃいますか。
(1つ選んでください)

	n数	いる	いない	無回答
回答者計(名)	514	152	358	4
回答者計(%)	100.0	29.6	69.6	0.8



	n数	小学校就学前	小学生	中学生	無回答
回答者計(名)	152	74	77	42	6
回答者計(%)	100.0	48.7	50.7	27.6	3.9

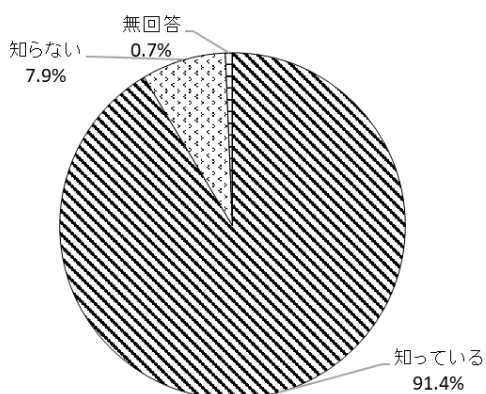


【全体的傾向】 中学生以下のお子さまがいらっしゃるの29.6%。その中で、小学生が最も多い(50.7%)。

問9 (問8で「1 いる」と回答された方へ)

区役所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを知っていますか。(1つ選んでください)

	n数	知っている	知らない	無回答
回答者計(名)	152	139	12	1
回答者計(%)	100.0	91.4	7.9	0.7



【全体的傾向】 91.4%の方が区や所、子育て支援センター、子ども・子育てプラザ、幼稚園、保育所などで子育て相談ができることを「知っている」と回答している。

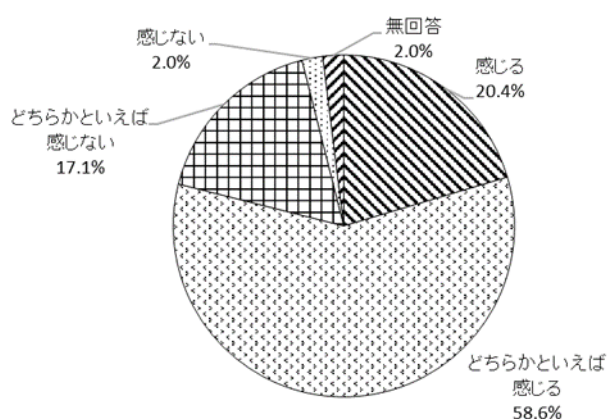
【年齢別傾向】 全ての年代で「知っている」が最も多く、最も少なかった50歳代でも87.5%が「知っている」と回答した。

【居住年数別傾向】 1年未満では、「知っている」と「知らない」が同じ(50.0%) (標本数: 2)であったが、その他の居住年数では「知っている」が「知らない」を上回り、最多は5年以上10年未満(100.0%)。

【小学校区別傾向】 全ての小学校区で「知っている」が最も多く、今津小学校、みどり小学校、茨田東小学校では100.0%が知っていた。

(問8で「1 いる」と回答された方へ)
 問 10 あなたは、子育てに関する必要な情報を入手できていると感じていますか。
 (1つ選んでください)

	n 数	感じる	どちらか かといえ ば感じる	どちらか かといえ ば感じ ない	感じ ない	無回 答
回答者計 (名)	152	31	89	26	3	3
回答者計 (%)	100.0	20.4	58.6	17.1	2.0	2.0



【全体的傾向】 「感じる」(20.4%)、「どちらかといえば感じる」(58.6)と79.0%が子育てに関する必要な情報を入手できていると感じている。

【年齢別傾向】 20歳代から50歳代で「どちらかといえば感じる」が多く、最多は50歳代(62.5%)。

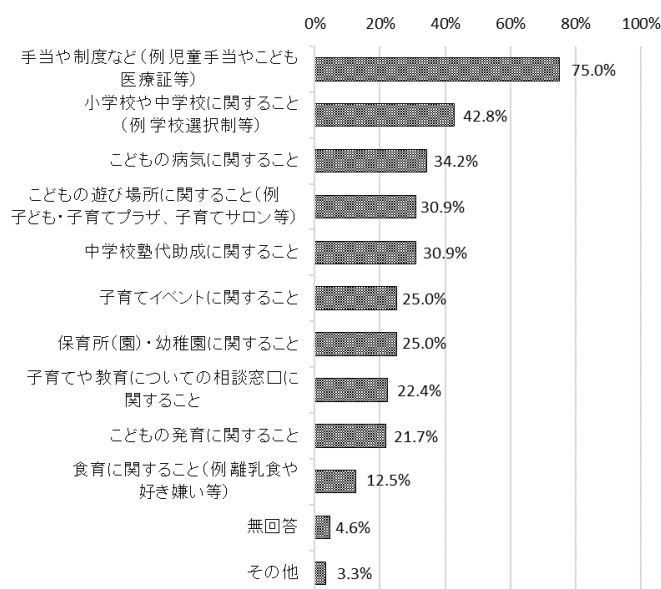
【居住年数別傾向】 1年未満で「どちらかといえば感じない」(100.0%) (標本数：2)が多く、他の居住年数では「どちらかといえば感じる」が多く、最多は1年以上5年未満(63.3%)。

【小学校区別傾向】 焼野小学校、茨田東小学校、茨田小学校では「感じる」と「どちらかといえば感じる」が同数(それぞれ44.4%、33.3%、25.0%)で、それ以外の小学校区では「どちらかといえば感じる」が多く、最多はみどり小学校(80.0%)。

問 11 (問 8 で「1 いる」と回答された方へ)

鶴見区では、区広報紙「広報つるみ」や SNS (フェイスブック、ツイッター) を活用し、子育てに関するさまざまな情報発信を行っています。あなたは子育てに関する情報で充実してほしいものは何ですか。(いくつでも選んでください)

	回数	(例 手当や制度など 児童手当や子ども医 療証等)	(例 食育に関すること 離乳食や好き嫌い 等)	子どもの発育に 関すること	子どもの病気に 関すること	子育てイベントに 関すること	(例 子ども・子育てプラ ザ、子育てサロン等)	子育てや教育についての 相談窓口に関する こと	保育所(園)・幼稚園に 関すること	(例 小学校や中学校に 関すること 学校選択制等)	中学校塾代助成に 関すること	その他	無回答
回答者計 (名)	152	114	19	33	52	38	47	34	38	65	47	5	7
回答者計 (%)	100.0	75.0	12.5	21.7	34.2	25.0	30.9	22.4	25.0	42.8	30.9	3.3	4.6



【全体的傾向】

全体では「手当や制度など」が最も多い(75.0%)。

【年齢別傾向】

50歳代では「小学校や中学校に関する事」(81.3%)が最も多く、その他の年代では「手当や制度など」が多い(最多は20歳代で88.9%)。

【居住年数別傾向】

全ての居住年数で「手当や制度など」が多く、最多は1年以上5年未満(83.3%)。1年以上5年未満では「子どもの病気に関すること」と「子どもの遊び場に関する事」が同数(43.3%)、5年以上10年未満では「子育てイベントに関する事」と「子どもの遊び場に関する事」が同数(36.0%)。

【小学校区別傾向】

全ての小学校区で「手当や制度など」が最も多く、最多は茨田南小学校と茨田東小学校(100.0%)。

〔「その他」と回答された方のご意見(抜粋)〕

- ・塾に関する事。 ・学童保育、いきいきなど 預かり保育。
- ・高校受験に関する事。他県出身なので仕組みを知りたい。